

この建物は、1 本の木から建てられたと言われている。その大きなヒノキの木は、20 世紀の変わり目に、北上川の底から発見された。「沈んだ木」（埋れ木）は、自然で豊かな木目の色から珍重される。仙台のある資産家がその木を買い取り、それを使って 1908 年に建物を建てた。1943 年に瑞巖寺に寄贈された後、建物は解体され、現在の場所に移築された。